



QRコードを読み取り、令和2年2月定例会を選択すると総括質疑が視聴できます。

令和（れいわ）

なかむら けんいち
(中村 憲一 議員)

後藤新平の気宇壮大な思いについて

問 後藤新平の「金を残して死ぬのは下だ。事業を残して死ぬのは中だ。人を残して死ぬのが上だ。」という名言を受けて、須藤市政は後世の富士宮に何を残すのか。

市長 後藤同様、人を育てることが後世の富士宮市に残す大事な仕事である。時には断じて行うこともあるが、一切言い訳はしない。言いたい者には言わせて、にっこり笑って受け止める。私の市政運営の評価は、後世の人に委ねる。

都市計画道路田中青木線について

問 県道三沢富士宮線以北、以南の事業認可の区分、着手、着工、完成の予定はいかがか。

部長 以北を県施行、以南を市施行とし、県と市が分かれて認可申請を行うが、概ね同時期に事業認可取得ができるよう早期に手続に着手。着工及び完了の予定は、国の補助金交付状況や事業用地

の取得進捗状況により明確に示せないが、早期事業完了を目指す。

本市が世界の多くの人知っている日本のシンボル“富士山”のあるまちについて

問 山梨県側では富士山登山鉄道構想検討会が設置される等、環境にも配慮し合理的に富士山の恵みを楽しんでいると感じるのはいかがか。

部長 静岡、山梨の両県から構成される富士山世界文化遺産協議会の学術委員会では、この構想について根本的な問題が多く残るとし、慎重に検討するよう山梨県に求めている。本市としては、世界遺産富士山に登山鉄道敷設は反対。

（仮称）富士宮市立郷土史博物館について

問 今、設置を構想する理由は。ゼロベースとのことだが、意中の建設候補地は示せないのか。

部長 富士宮市の歴史資産の解説の充実が必要と判明したため、世界遺産登録10周年である令和4年度の開設を目指す。白糸自然公園内や富士山さくらの園周辺の市街地等可能性を検討。

政経会（せいけいかい）

つじむら たける
(辻村 岳瑠 議員)

気宇壮大な思いはこのまちをどう変えるのか

問 市長は後藤新平の気宇壮大な思いを自らに重ねられたが、富士宮をどう変えていきたいのか伺う。

市長 後藤新平は、地域の発展に重点を置き、都市の構想について人間の生活を中心に考える人であった。まだまだこのまちは良くなる、このまちを何とかして良くしていきたい、品格のあるまちづくりを進めたいという思いは、地域の発展に重点を置いた、後藤新平の考え方と重なるとともに、先見性をもとに新しい政策を打ち立てるまちづくりにかける思いは、私の信念と相通ずるものがある。これまで先人たちが築いてきた歴史や文化、そして伝統を受け継ぐとともに、次世代に確実につないでいくための様々な取組を実施することで、富士山に恥じない品格のあるまちとなるように、富士宮市をさらに良くしていきたい。

インバウンド策について

問 スペイン国内では、富士宮市の認知度が高まっているようである。スペインに対してインバウンド策は考えられないか伺う。

部長 これまでの活動でスペイン国内では当市の認知度は高まってきていると感じている。市のオリンピック・パラリンピックプロジェクトチームと観光PR配信の検討をしている。

無電柱化で魅力ある地域づくりについて

問 本市が掲げる富士山の魅力を発揮した快適なまちづくりの中で無電柱化事業について伺う。

部長 無電柱化推進計画では、無電柱化の目的である防災、交通、景観、観光などへの効果や、用地の確保、費用対効果等も含めて、総合的に判断し効率的に無電柱化を実施する。場所については計画の策定過程において具体化を図っていく。

